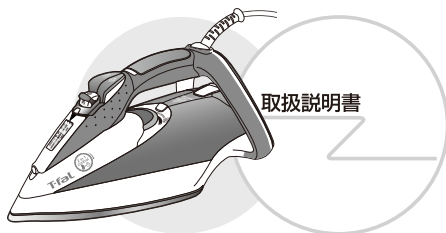


スチームアイロン

アルティメット オートクリーン 500

(製品番号:FV9550シリーズ)



目次

安全上のご注意	1
各部の名前とはたらき	3
●本体パネル表示 ●ドライ/スチーム切替レバー	4
●絵表示の見かたと温度の関係	5
ご使用前に・・・	6
ご使用方法	7
●水の入れ方 ●スチームのご使用前に	7
●スチームアイロンとして使うには ●ハイパーショットを使うには	8
●パーチカルスチームを使うには ●ドライアイロンとして使うには	9
●ワンタッチスプレー(霧吹き)を使うには ●水漏れ防止機能	10
●使い終わったら	11
お手入れ方法	12
●本体 ●かけ面	12
●セルフクリーニング	13
●水あか防止バルブのクリーニング	14
故障かなと思ったら	15

このたびは、ティファール スチームアイロンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。

また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容。

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



電源プラグを
コンセントから抜く

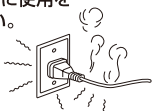
警告



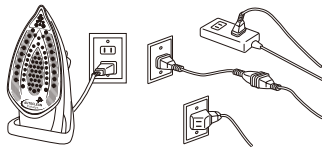
電源は、一般家庭用
100V、50/60Hz
を使用してください。



使用中、電源プラグ/
電源コードが異常に熱く
なるときは、直ちに使用を
中止してください。
ショートや発火する
恐れがあります。



- アイロンは、単独で使用してください。
- 2口コンセントの場合は片方の差込み口を空けたままで使用してください。
- 延長コードを使用される際は、定格15Aのものに単独で使用してください。
コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。



修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。やけど・感電・けがをすることがあります。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の恐れがあります。

⚠ 注意



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れないようにしてください。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社お客様相談センターにご連絡ください。



熱いアイロンにコードを巻き付けしないでください。
ショート・発火の原因になります。



本体を水につけたり、水をかけたりしないでください。



ハイパーショットボタンを連続して速く押さないでください。
湯滴漏れによるやけどの原因になります。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜いてください。
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



給排水時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因になります。



高温になる部分（かけ面など）に触れないでください。
やけどの原因になります。

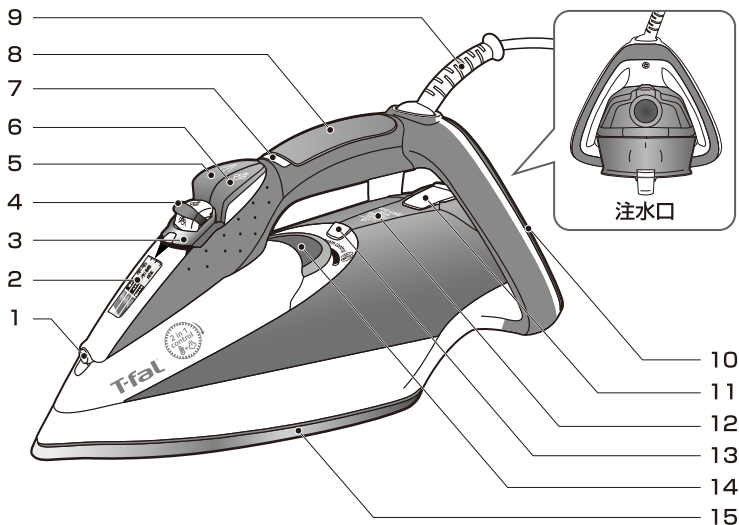


熱いスチームに触れないでください。やけどの原因になります。

※この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。

※自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分気をつけてください。

各部の名前とはたらき



※カルキ防止

アイロン内部にカルキ防止カートリッジが内蔵されています。
このカートリッジの働きで、カルキをアイロン内部にたまりづらくし、
アイロンの持ちをよくなります。カートリッジは交換不要です。

● 本体パネル表示

かけ面の温度を設定します。

ドライゾーン

この間ではドライでご使用ください。

スチームゾーン

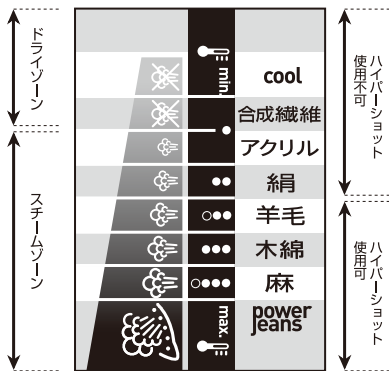
この間でスチームを使用できます。

温度設定ダイヤル

温度設定ダイヤルを回し、
繊維の種類を合わせます。



温度設定ダイヤル

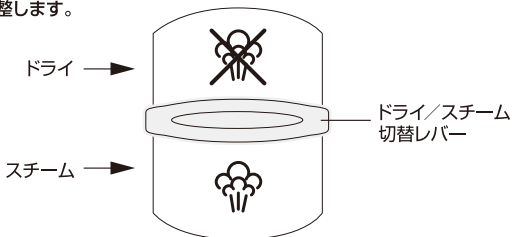


※詳しくは8ページをご覧ください。

かけ面は熱くありませんが、「cool」でも通電しているので、
使用時以外は電源プラグを抜いてください。

● ドライ／スチーム切替レバー

スチーム量を調整します。



スチーム量は設定温度(選択したパネル上の布地)に合わせて自動調整されます。

切替レバーは必ずドライ／スチームのどちらかの上にセットしてください。




設定温度がドライゾーン(合成繊維・cool)の場合は、ドライにセットして使用してください。
水漏れ、湯滴漏れの原因となります。

※ 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。

※ ドライアイロンとして使用していても、温度設定が「power jeans」「麻」「木綿」「羊毛」であれば一度にたくさんのスチームを出すハイパーショット(8ページ)が使用できます。












● 絵表示の見かたと温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示（一部参考例）

絵表示	アイロンのかけ方
	あて布をして高温でかけてください。 〜線は指示温度であて布をするという意味です。
	低温でかけてください。
	アイロンがけはできません。

※ その他「スチーム禁止」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表（表示されているかけ面の温度はドライアイロン使用時の温度）

絵表示	温度設定ダイヤルの位置	かけ面の温度	設定温度までの待ち時間
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">ドライ</div>  </div>		約70°-130°	約40秒
	 合成繊維		
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">スチーム</div>  </div>	 アクリル	約130°-160°	約60秒
	 絹		
	 羊毛		
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: small; margin-right: 5px;">スチーム</div>  </div>	 木綿	約160°-210°	約90秒
	 麻		
	 max. power jeans		

アイロンがけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく、冷めにくいので、アイロンがけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。

複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。

また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・羊毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。

※ アイロンがけの前に衣類を分けておけば能率的です。



ご使用の前に・・・

- 初めてアイロンをご使用になる際、かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがありますが、異常ではありません。
製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。
この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。
- 初めてアイロンをご使用になる際、ごくまれにスチーム孔から白い粉が出てくる場合がありますが、異常ではありません。
アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためです。初期のご使用の際には10回ほどのハイパーショットボタンを押してからご使用ください。
気になる場合は、セルフクリーニング(13ページ)を実施してください。
- スチームアイロンには、水道水をご使用ください。
軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、香水などを加えた水などはご使用にならないでください。
アイロンのスチーム孔が詰まったり、布地のシミの原因となります。
- 初めてアイロンをご使用になる際、また長期間スチームをご使用にならなかった際、まれにスチームが出るまで時間がかかる場合があります。
その場合は、7ページの「スチームのご使用前に」を参照していただき、通常より多めに、ハイパーショットボタンを10～15回程度出し続けると、スムーズに噴射されるようになり、それ以降は問題なくご使用いただけます。
- のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。
のりづけ(スプレーのりも含む)、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ(こげつき)だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。
- 温度設定は正確にしてください。
5ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。
複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ(こげつき)や衣類を傷める原因になります。
- 使用中、使用後、アイロン内部から金属音がありますが、異常ではありません。
アイロン内部にある水漏れ防止用のパイメタル(金属)が、かけ面の温度変化によって機能することにより発生するものです。

ご使用方法

●水の入れ方

スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合は、水タンクに水を入れます。

① 電源プラグがコンセントに接続していないことを確認します。

② スチーム調整レバーを「ドライ(☒)」に合わせます。

③ アイロンを逆さにしてハンドル部分を持ちます。

④ 給水口開放ボタンを押し、手前に引き倒します。

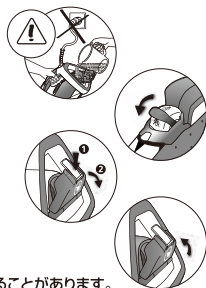
⑤ 水タンク内のMAXマークまで水を入れます。

⑥ 給水口カバーをしっかりと閉めます。

※給水の際は必ず電源プラグをコンセントから外してください。

※電源プラグ、コードに水がかからないようにご注意ください。

※「ドライ(☒)」に合わせないと、ご使用中の水漏れ、湯滴漏れの原因になることがあります。



●スチームのご使用前に

初めてスチームをご使用になるとき、また長期間スチームをご使用にならなかったときは、下記の手順でスチーム孔と内部に付着したほこりなどを排出させてください。

① 水タンクに水を入れます。
(上の「水の入れ方」を参照してください。)

② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

③ 温度設定ダイヤルを回し、
「麻」または「power jeans」にセットします。

④ サーモスタートランプが消えたら、ドライ／スチーム切替レバーを
スチーム（高）にセットします。

⑤ かけ面を下にして浮かせて、2、3回ハイパーショットボタンを
押してスチームを出してください。

※初めてお使いになるときは、スチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
その場合、ハイパーショットボタンを10～15回程度押してください。



温度設定ダイヤル

ドライ／スチーム切替レバー

● バーチカルスチームを使うには

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

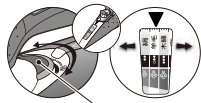
注意

- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。

お願い

- 熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

- ① 衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。

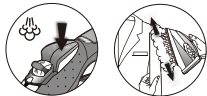


温度設定ダイヤル

- ② 温度設定ダイヤルを使って温度設定を「麻」にセットします。

- ③ ハイパーショットボタンを繰り返し押ししながら、アイロンを上から下に移動させます。連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。

ハイパーショットボタン



- ※サーモスタットランプが点灯したら、消えるまで待ってから使用してください。

● ドライアイロンとして使うには

- ① スチーム調整レバーを「ドライ(☒)」にセットします。

ドライ/スチーム
切替レバー



- ② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- ③ 繊維の種類に合わせて、温度設定ダイヤルを回して、生地種類をセットします。
(5ページの「温度設定目安表」を参照してください。)



温度設定ダイヤル

- ④ サーモスタットランプが消えたら準備完了です。

- ※ドライアイロンとして使用していても、温度設定が「power jeans」「麻」「木綿」「羊毛」であれば一度にたくさんスチームを出すハイパーショット(8ページ)やバーチカルスチーム(9ページ)が使用できます。

お手入れ方法

注意

- 水道水で急にアイロンを洗わないでください。

お願い

- アイロンの電源プラグを抜いて冷めるのを待って、お手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

●本体

やわらかい布で拭いてください。

がんこな汚れにはぬらした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。

●かけ面

本製品の「オートクリーンかけ面」は触媒作用を利用し、アイロン使用中に発生するかけ面上の不純物を取り去る働きをします。しかし通常の使用状態でない場合（不適切な水や柔軟剤など）、かけ面上に汚れが残る場合があります。

汚れが付いたときはすぐに取りってください。

そのまま放置すると、汚れが取りにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。

頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

●セルフクリーニング

アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングを行ってください。
(使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1回の目安で行ってください。)
スチーム穴の目詰まり防止に効果的です。

- ① ドライ/スチーム切替レバーを「ドライ(☒)」にセットします。

ドライ/スチーム
切替レバー



- ② 水タンクのMAXマークまで水を注ぎます。
(7ページの「水の入れ方」を参照してください。)

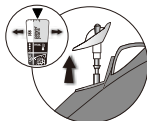
- ③ 電源プラグをコンセントに差し込んで、繊維種類を「power jeans」にセットし、アイロンを立てた状態でサーモスタットランプが消えるまで待ちます。



温度設定ダイヤル

- ④ アイロンの電源プラグを抜いて、流し台などの上で水平に持ち、水あか防止バルブを引き上げます。

※この場合、水あか防止バルブは完全に引き抜く必要はなく、止まる場所まで軽く引き上げるだけで大丈夫です。



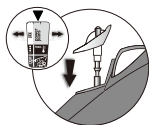
この状態で、アイロンを水平にし前後に振りながら、かけ面からお湯まじりの蒸気と汚れを排出させます。

※十分に汚れをとりたい場合は、もう1度繰り返します。

注意

- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出る場合があります。十分にご注意ください。

- ⑤ 終わりましたら、水あか防止バルブを元の位置にセットします。



お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。
お手入れの際は、忘れずにセットしてください。

- ⑥ かけ面が冷めてから、やわらかい布でアイロンを拭きます。

●水あか防止バルブのクリーニング

水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限の
スチーム効果が得られます。

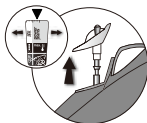
- ① 電源プラグをコンセントから抜き、水タンクを空にします。

- ② ドライ/スチーム切替レバーを
「ドライ(☒)」にセットします。

ドライ/スチーム
切替レバー



- ③ 繊維種別を「power jeans」にセットしてから水あか防止
バルブの両端を持ち、しっかりとバルブを引き抜きます。
※このとき、バルブの先端を手で触れないよう注意してください。



- ④ バルブの先端を3～5倍に薄めた酢またはレモン汁に
4時間程度浸します。



- ⑤ バルブの先端部分を水道水ですすぎ洗いし、本体に戻して
しっかり固定します。

お願い

- 水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、
スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。
お手入れの後は、忘れずにセットしてください。

故障かなと思ったら

状況	考えられる原因	対処方法
アイロンが熱くならない	●温度設定レバーの位置が正しくない。	●温度設定レバーを目的の繊維にセットしてください。
	●きちんと電源プラグが入っていない。	●電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
スチームが出ない または十分でない	●初めての使用。	●初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。(6ページ)
	●ドライ/スチーム切替レバーが「ドライ(☒)」にセットされている。	●ドライ/スチーム切替レバーを「スチーム(☑)」にセットしてください。
	●温度設定がスチームゾーンになっていない。	●温度設定レバーをスチームゾーンにセットしてください。(5ページ)
	●水タンクが空である。	●水タンクに水を入れてください。
	●スチーム穴が詰まっている、または長時間ドライのみで使用した。	●水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングを行ってください。(13～14ページ)
	●水漏れ防止機能が働いている。	●かけ面が適温に達するまでお待ちください。
水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た	●ドライ/スチーム切替レバーが「ドライ(☒)」に合っていない。	●給水時は必ずドライ/スチーム切替レバーを「ドライ(☒)」にセットしてください。
水が漏れる	●ハイパーショットボタンの使用回数が多すぎる。	●ハイパーショットボタンを連続使用する場合、少なくとも4秒間あけてください。
	●温度設定レバーがドライゾーンにあるのに、ハイパーショットを使用した。	●ハイパーショットを使用するときは、温度設定を羊毛以上に合わせてください。
	●温度設定になる前にハイパーショットを使用した。	●サーモスタットランプが消えてからハイパーショットを使用してください。
	●水タンクに水を入れ過ぎた。	●水量は多くてもMAXマークまでにしてください。
	●水タンクを空にせず保管した。	●アイロンかけ後は11ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、立てた状態で保管してください。
	●給水口のふたをしっかりと閉めていない。	●給水口のふたをしっかりと閉めてください。

スチーム穴から茶色の液体が漏れて、布地にシミができる	● 不適切な水を使用した。	● セルフクリーニングを行い(13ページ)、6ページを参考にして水道水を入れてください。
かけ面が汚れる あるいは 茶色くなり、 布地にシミが できる	● 布地に洗剤やのりが残っている。	● のりを使用する場合は、あて布をしてください。(6ページ) ● かけ面の汚れを取り除いてください。
	● 設定温度が高すぎた。	● かけ面の汚れを取り除いてください。 ● 5ページの「温度設定目安表」を参照してください。
かけ面にキズがついた	● アイロンを立てずに金属製または凹凸のある台の上に放置しておいた。	● アイロンは立てた状態で保管してください。かけ面のキズがひどい場合は、弊社お客様相談センターにご連絡ください。

※ 修理の依頼は弊社お客様相談センターにご連絡ください。
 なお、補修用部品の供給期間は製造打ち切り後5年間です。

仕様

製品名	アルティメットオートクリーン 500	
製品番号	FV9550シリーズ	
電 源	100V 50Hz / 60Hz	
定格消費電力	1400W	
温度ヒューズ	390°C	
本体サイズ	幅	約 16 cm
	長さ	約 31 cm
	高さ	約 15.5 cm
本体重量	約 1.6 kg	
コード長さ	約 2 m	
タンク容量	350 ml	
オートクリーンかけ面	●	
ハイパーショット	●	
ワンタッチスプレー(霧吹き)	●	
パーチカルスチーム	●	
水漏れ防止機能	●	
ソフトジェルグリップ	●	
カルキ防止	●	
自動停止安全機能	●	

※仕様、デザイン、価格は変更になることがありますのでご了承ください。

Made in France

株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒141-0022 東京都品川区東五反田3-14-13 高輪ミュージズビル
 修理センター：〒242-0001 神奈川県大和市下鶴岡2500

お客様
相談センター



0570-077772

受付時間：月～金 10:00～17:00(土日祝日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

受付時間：月～金 10:00～16:00(土日祝日を除く)

※全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
 ※商品により部品としての取り扱いはないものがございます。